



## 受け継がれるもの

学校が再開して一か月が経ちました。保護者の皆様には健康観察やマスクの準備等、様々なご協力をいただき、ありがとうございます。

3か月の休業期間明けの学校は保護者・地域の皆様のご協力のおかげで、落ち着いたスタートを切ることができました。再開直後はやや緊張していた面持ちの子どもたちでしたが、日が経つにつれて、少しずつ学校のルールにも慣れてきて、表情も柔らかくなってきています。いよいよ7月より全日授業となります。一斉登校が始まり、集団生活の中での感染症対策は易しいことではありませんが、今後も状況に応じた「馬場小リスタートプログラム」を進めてまいります。



昨年度に全学年で作成した  
「入学おめでとうメダル」

さて、どの学年でも学習が徐々に本格化してきています。先日、1年生が学校たんけんの学習を行っていました。グループで学校の中を歩きながら様々な発見をしていきます。校長室にも何人かの子が来ました。「あ、ビデオ朝会で見たことのある部屋！」と言いながら入ってくる子も、しばらく部屋を眺めながら、校章の絵、歴代校長の写真、校長室前に展示されているトロフィーなどを発見していきます。校長室に入るときには「入ってもいいですか？」出るときには「ありがとうございました」とやや緊張しながらも、一生懸命に声に出して伝えようとする1年生の姿に微笑まずにはられません。いずれ、この馬場小学校の歴史や大切にしてきたものに気づく日もくるだろうと期待を抱きながら、教室に戻る子どもたちを見送りました。

また、6年生にとっても、1年生との交流は最高学年としての意識をもつ意味でも大切な機会となります。例年なら全校で行う「1年生の入学を祝う会」も実施できていません。そこで祝う会で渡す予定だった全校児童で作成したメッセージ入りの「入学おめでとうメダル」を6年生の代表児童が1年生の各クラスに届けてくれました。もらった1年生は「ずっとつけていたい！」と声を上げる子もいるほど喜んでいました。こうして、馬場小で大切にしてきたことが、下の学年の子どもたちに受け継がれるのかと、その伝統を感じたひと時でした。

子どもたちは多くの関わりの中で学び、成長していきます。様々な制約はありますが、子ども一人ひとりが、しっかりとした学びを積み重ねていけるように今後も努めてまいります。

学校生活が進むにつれて、暑い日も続くようになり、少し疲れを感じている子もいるようです。規則正しい生活リズムの定着や健康管理について、引き続きご協力のほどよろしく申し上げます。また、体調がすぐれない場合には決して無理をせずに休養をお願いします。安心・安全な学校運営へのご理解とご協力をお願いいたします。